

新水道ビジョンについて

< 基本理念 >

地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道

持続

安全

強靱

挑戦

連携

新水道ビジョンの構成

～ 目次 ～

第1章 はじめに

第2章 新水道ビジョンの基本理念

… 「**地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道**」

第3章 水道の現状評価と課題

第4章 将来の事業環境

第5章 取り組みの目指すべき方向性

… 「**安全**」「**強靱**」「**持続**」

第6章 方策の推進要素

… 「**連携**」「**挑戦**」

第7章 重点的な実現方策

… 3分類・15項目

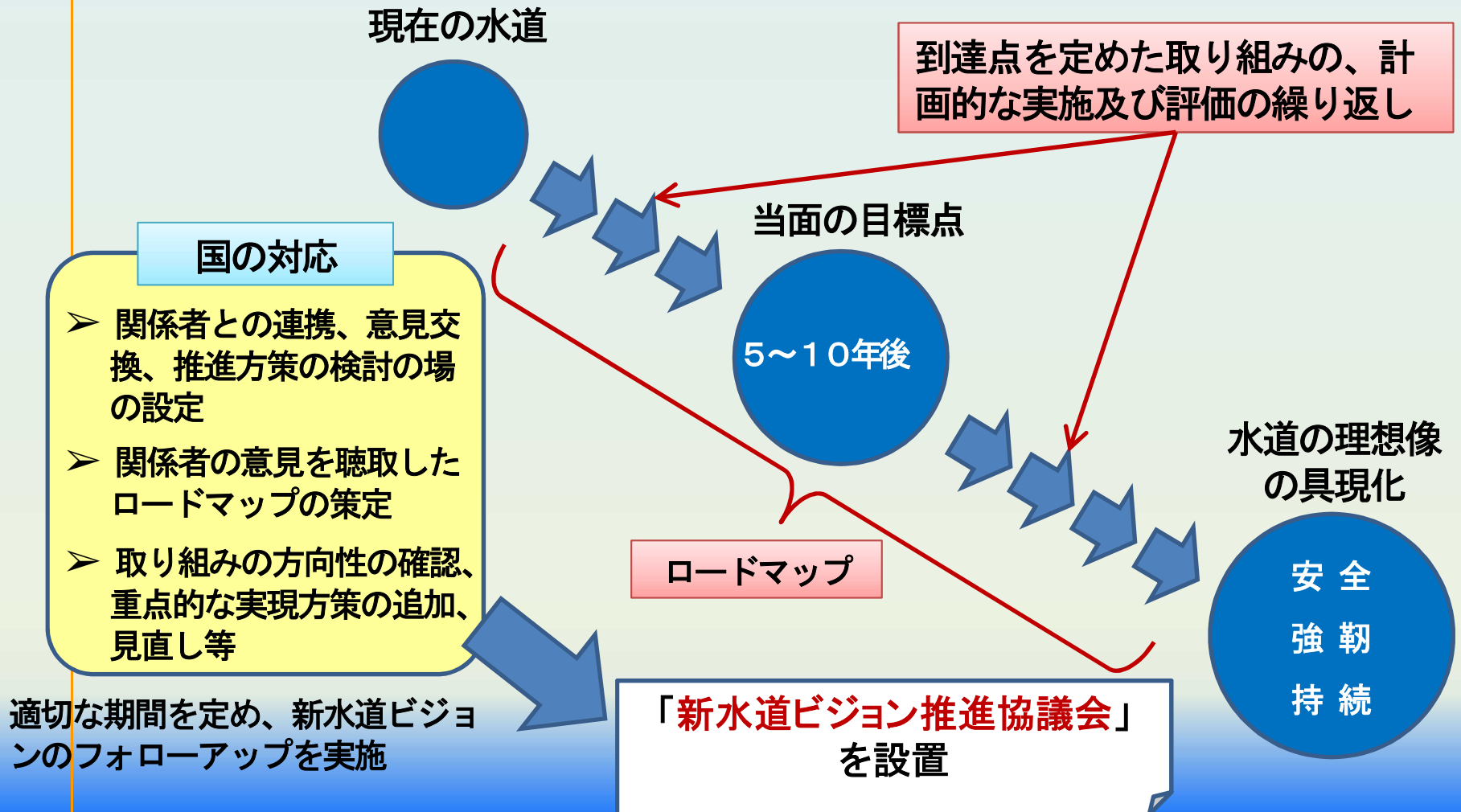
第8章 関係者の役割分担

… 行政機関、水道事業者、自家用水道の設置者など

第9章 フォローアップ

新水道ビジョンのフォローアップ

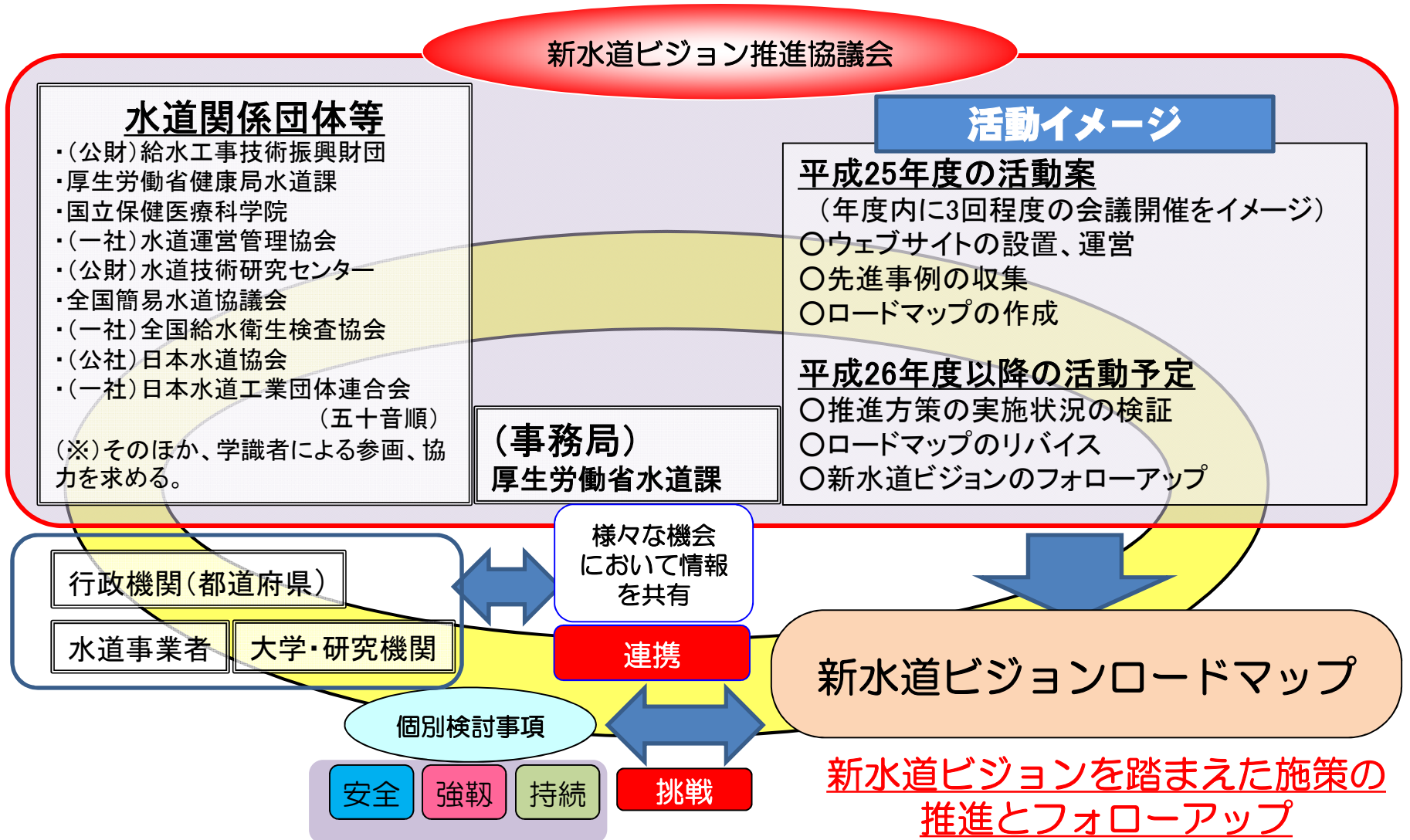
水道関係者の役割分担に応じた方策の推進において、到達点を設定し、到達状況の客観的な評価、把握を繰り返すことで、水道の理想像を具現化を図る。



新水道ビジョン推進協議会（イメージ）

■目的

○新水道ビジョンに示された各種方策を推進するため、方策の実施主体となる関係者が実施状況を共有し、密接に連携するための枠組みとして、「新水道ビジョン推進協議会」を設置する。



新水道ビジョン推進協議会のスケジュール

平成25年度 新水道ビジョン推進協議会開催スケジュール

平成25年度の新水道ビジョン推進協議会は、下記のとおり3回程度の開催を予定する。

なお、平成26年度以降も関係団体の取り組み内容について情報共有しつつ、継続的に開催するよう調整を図る。

第1回協議会（8月28日）

- ・協議会開催要領
推進協議会の意義等について説明
- ・ロードマップ（素案）の意見交換等
メンバーにあらかじめ提示した厚生労働省から示すロードマップを踏まえ、それぞれの団体等において取り組む事項について意見を交わす。

第2回協議会（12月予定）

- ・重点的な実現方策の参考となる事例
新水道ビジョン第7章に掲げた方策又はそれ以外にも理想像に向けた取り組みについて、参考となる事例をとりあげる。
- ・推進方策の実施状況の共有
それぞれの団体等において実施中又は実施予定の推進方策を紹介し、さらに関係者間で連携を図りつつ推進していくべき内容等を検討する。

第3回協議会（3月予定）

- ・ロードマップの作成
厚労省が示すロードマップに関係者が推進する取り組みを加え、水道関係者が取り組むロードマップを作成し、目標を設定する。
- ・WEBサイトの活用方策
先進事例や実現方策の情報を集約するWEBサイトを開設する。

平成26年度以降について

- ・関係者からの先進事例の継続的な集約
- ・ロードマップに基づいて、取り組み内容と各種方策の進捗状況を確認
- ・推進方策を補完しつつ、ロードマップに追加、修正すべき事項を検討する。

○第1回新水道ビジョン推進協議会
（平成25年8月28日（水）資料より抜粋）

今後の主な取り組み

新水道ビジョン推進協議会において示されるロードマップに沿って、水道関係者が連携し、課題解決のために、挑戦し続けることが重要。

新水道ビジョン推進のために早期に取り組む主要な事項

- (1) 水安全計画の活用による水質管理促進
- (2) 水道水質に係る新たな項目設定
- (3) 重要給水施設配水管の優先的耐震化の推進
- (4) 耐震性能の評価と耐震化計画策定指針の改定
- (5) アセットマネジメントの活用促進、導入状況を把握
- (6) 発展的広域化の推進（都道府県の指導力に期待）
- (7) 料金制度の最適化